

第 6 回日本 MIS_t 研究会 報告

2015 年 2 月 14 日（土）～15 日（日）に、神戸市にて第 6 回日本 MIS_t 研究会を開催いたしました。約 80 名のご参加をいただき、無事に終了いたしましたのでご報告させていただきます。

今回は、第一回 MIS_t 研究会が開催された記念すべき有馬温泉での開催とさせていただきます、MIS_t の原点を振り返るということで、“原点回帰”をテーマといたしました。

初日は、現在皆さんの関心が集まっている XLIF について、石井賢先生（慶応大学）、齋藤貴徳先生（関西医大滝井病院）にミニレクチャーをしていただきました。その後、本音会として症例検討会を行いました。各病院での苦労話をもとにフロアを含めて活発な討論が行われました。その後は、同年代の先生方と部屋で夜遅くまで交流を深めることができました。大学の垣根を越えた交流が非常に有意義であったと感じております。

二日目は、研究会として活発な議論が繰り広げられました。MIS_t 各論についての各病院での工夫や、骨粗鬆症に対する対策、XLIF/OLIF についての演題など様々な分野の講演がみられました。ランチョンセミナーとして、佐藤公治先生に「MIS_t この 10 年と innovation」と題した特別講演をしていただきました。MIS_t 研究会の歴史から、現在までの流れ、さらに今後の見通しなどについて非常にわかりやすくお話いただき、大変勉強になりました。当初は昼過ぎに終了する予定でしたが、演題登録をたくさんいただいた関係もあり、終了時刻が遅くなってしまったため、遠方からお越しの先生方にはご迷惑をおかけいたしました。

今回は温泉地での開催ということもあり、不慣れな事務局の対応となってしまいました。演題登録、事前宿泊申込みの段階から皆様方にはいろいろとご迷惑をおかけしましたことをこの場をおかりしてお詫び申し上げます。しかしながら、温泉地での開催によるメリットもたくさん感じることができました。参加された先生方からも好意的な意見をいろいろといただいております。特に、会場の手配、当日のサポートなど全面的に引き受けてくださいました関西医大滝

井病院の齋藤先生をはじめスタッフの皆様方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

来年は青森の富田先生が当番幹事となります。皆様方とまた東北の地でお会いすることを楽しみにしております。



第6回
Minimally Invasive Spine Stabilization
日本MIS-t研究会
プログラム

平成27年2月15日(日) 9:00~15:00
有馬グランドホテル 1階 右近の間

会長
岡山大学病院 整形外科 准教授
田中 雅人

岡山大学 整形外科 会長 田中雅人
(当番事務局) 荒瀧慎也